

東京港トンネルの見学会の下見の報告

【概要】川崎市・川崎市観光協会が平成 30 年 3 月下旬に予定している東京港トンネルの見学ツアーのための下準備、下見が目的です。

発注者の国土交通省担当者のご案内で見学日時や留意事項などを打ち合わせてきました。以下はその記録です。

【日時】平成 29 年 12 月 18 日（月）14:45～15:00

【メンバー】川崎市観光プロモーション推進課森係長（ご挨拶後業務ため退席）、川崎市観光協会安永部長、大矢会長、石毛副会長、根岸得意先担当者 国土交通省川崎国道事務所 今村課長、係官 1 名。

【地図】

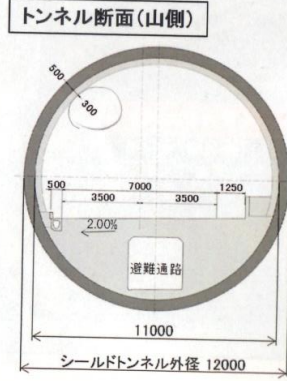
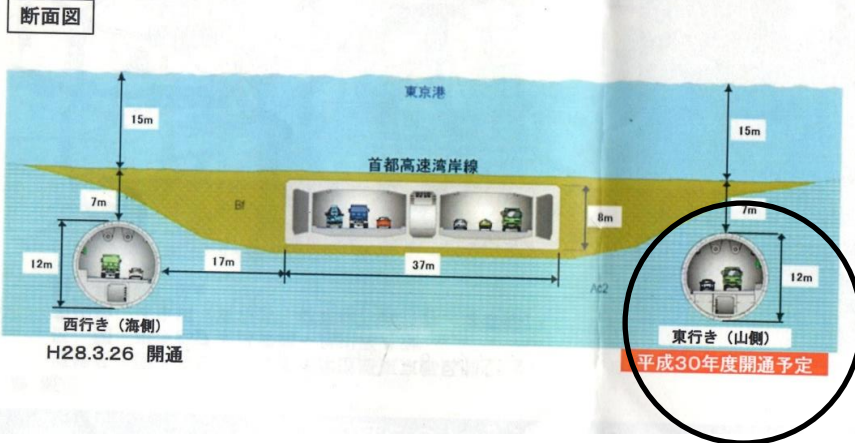
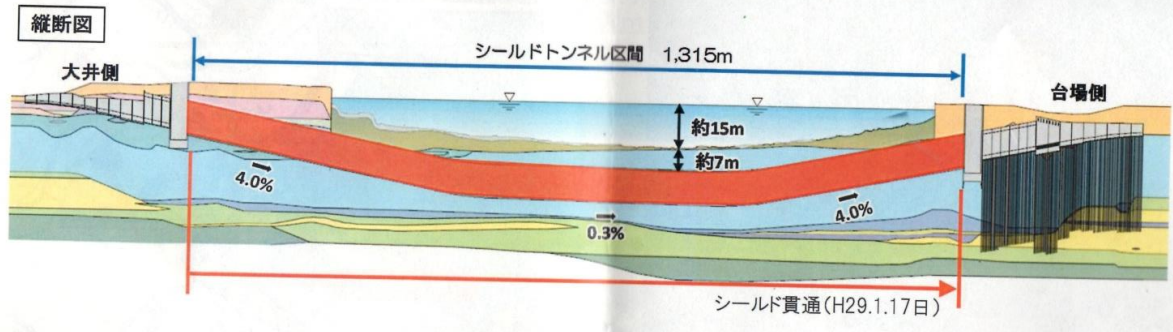


【内容】今回の見学先の国道 357 号線は千葉、東京、神奈川の臨海部の各都市を結ぶ 160 キロの道路で現在整備中です。全線が開通するのは未定とのこと。

見学の現場は品川とお台場区間の東京港の下をトンネルで建設しています。

湾岸道路の中央部に首都高速道路がすでに供用開始しており、国道 357 号線はこの中央部の首都高速道路の左右に 12m のトンネル（シールド部約 1300m）を二本作り、すでに西側（お台場方面から羽田方面行き）のトンネルは道路として共用開始しています。

今回の見学先は東側（羽田からお台場方面へ）のトンネルです。すでにトンネル部は完成して今後は道路の路盤や設備関係の工事があり完成は平成 30 年度。



この東側のトンネルを見学



首都高の換気塔

首都高速道路

品川からお台場方面を望む

今回のツアーの目玉は開通前の道路トンネルを品川方面からお台場まで約1300m歩きます。じっくりとトンネル内の12mの大きさ（ビル3Fほどの高さ）、避難通路、避難のための滑り台、照明や排煙装置など見ながら通行前の道路の仕組みなどを観察できます。開通後には体験できないのが大いに魅力だと思います。トンネル内の歩行時間は約30分だそうです。帰りは出口側に待機しているマイクロバスに乗車する予定です。

見学日時や見学者数（マイクロバスなので20名ほど）、服装、年齢、その他留意事項についてお聞きしました。主催者側は3月26日の週の一日を希望して今後、諸事項を調整して決めていく予定です。国土交通省側から提供された資料を使う場合はチラシやSNS等で発信する場合は了解が必要とのことでした。

またツアーでは見学先をもう一つ川崎地区を予定しています。どこを見学するか今後の課題です。

開通前のめったに見られないトンネルの見学ツアーはとても魅力的なツアーになるとおもいます。あとはより魅力的なツアーにするための川崎方の見学先をどこにするかですかね。

【写真】



国土交通省の今村課長から工事の概要をお聞きする。



シールドマシンの模型の展示



避難路へのすべり台の模型の展示



品川方からお台場方面を望む。



巨大なトンネル



避難通路



トンネル構内の模様



お台場側の出口の模様



お台場側出口。船の科学館が見える。



お台場側からみた東京港